

# 取り付けと接続

## NVX-DV9

Sony Corporation ©2002 Printed in Japan

### 取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

#### 取り付けはお買上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けたときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

本機の接続コードの色は、JEITA\*コードカラーに準拠しています。

\* JEITAは、日本電子機械工業会の略称です。

#### 販売店様へお願い

本機の取り付け後、この「取り付けと接続」は、必ずお客様へご返却ください。

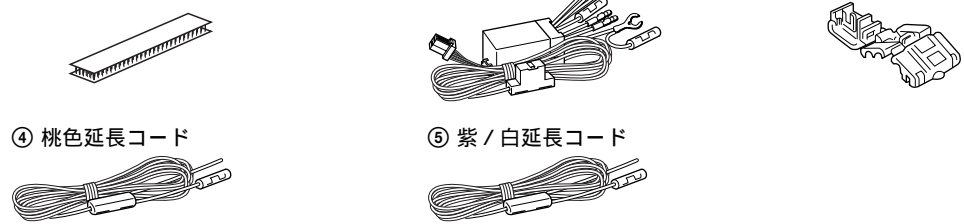


### 付属品品の確認

この「取り付けと接続」に記載されている取り付け先または接続先の機器は、すべて別売り品です。ただし付属品は除きます。

#### ナビ本体

- ① 面ファスナー
- ② 電源コード
- ③ 圧着式コネクター×3



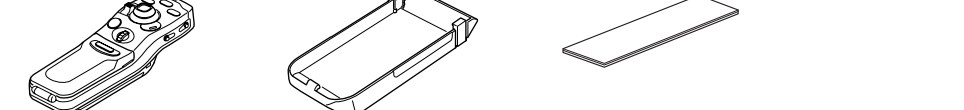
#### GPSアンテナ

- ⑥ GPSアンテナ
- ⑦ クッション
- ⑧ コードクランパー×10
- ⑨ 取り付け板



#### リモコン

- ⑩ リモコン
- ⑪ リモコンホルダー
- ⑫ 両面テープ



### ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内 (FAX付電話でご利用になれます)

カーフィッティングFAXサービス 車種メーカー、車種・車輦形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料

①インデックスの入手 / 03-3552-7209 → 車種メーカー別のBOX番号を受信

②資料請求 / 03-3552-7488 → アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

•ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。

•FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8:00~午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)

24時間  
お手元のFAXで  
資料が取り出せます

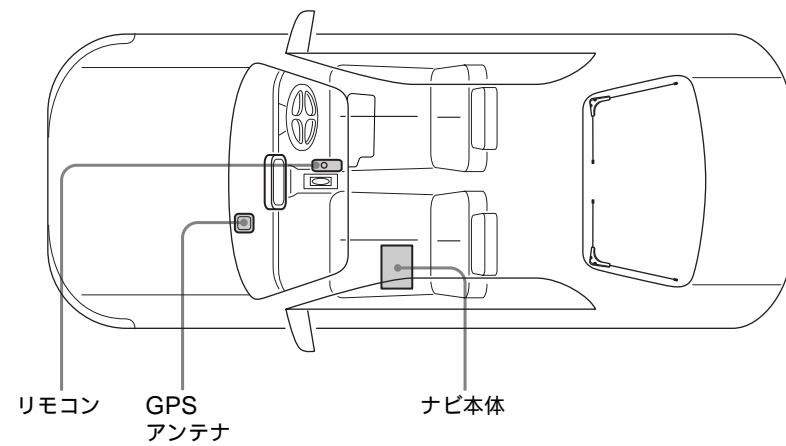
**ご案内**  
ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。  
テクニカルインフォメーションセンター  
電話：048-794-5194  
受付時間：月～金 9:00～18:00  
(祝日、年末年始、弊社休日を除く)  
ご相談になるときは次のことをお知らせください。  
•製品  
•故障状態：できるだけ詳しく  
•お買い上げ年月日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35  
お問い合わせはお客先相談センターへ  
●ナビダイヤル 0570-00-3311  
(全国どこからでも市内通話料無料でご利用いただけます)  
●携帯電話・PHSでの利用は 03-5448-3311  
●Fax 0466-31-2595  
受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

この説明書は再生紙を使用しています。

### 取付場所の確認

下図のように取り付けられるかどうか、ご使用になっている車に合わせて各機器を配置してください。



#### ご注意

- GPSアンテナは、車外に取り付ける場合と、車内に取り付ける場合の、2とおりがあります。
- ユニット同士やコード類は離してください。
- ナビ本体とTVチューナーユニット・ナビ本体とコネクションボックス・ナビ本体とモニター接続コード・モニターとGPSアンテナ 近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出る場合があります。

1 イグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

2 仮置きして(上図参照) ケーブルの長さやモニターの位置などを確認する

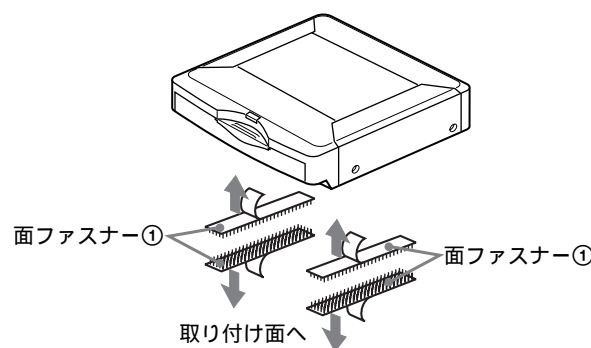
### 1 ナビ本体を取り付ける

#### ご注意

- 取り付け面をきれいにしてから取り付けください。
- 必ず面ファスナーを使って、床面へ固定してください。
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
  - 高温になる場所
  - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高い場所
- 面ファスナーは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

#### 面ファスナー①を必要な分だけ切り、カーペットなどに貼り付ける

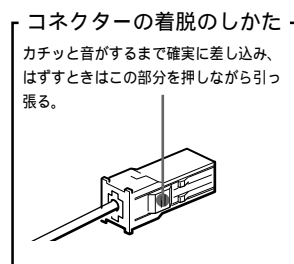
本機の自車位置を読み取る精度が充分機能するように、必ず、水平で5°以内に、しっかりと取り付けてください。



面ファスナーは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

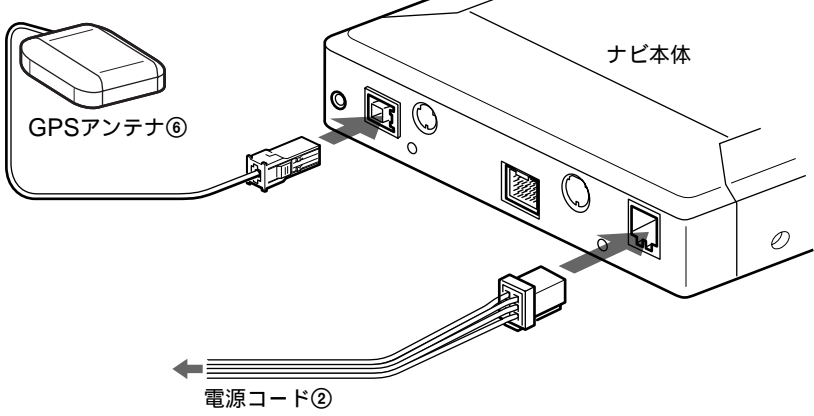
### 2 ナビ本体と接続する

下記以外の接続については、裏面の「接続図」に従ってください。



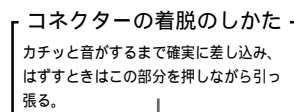
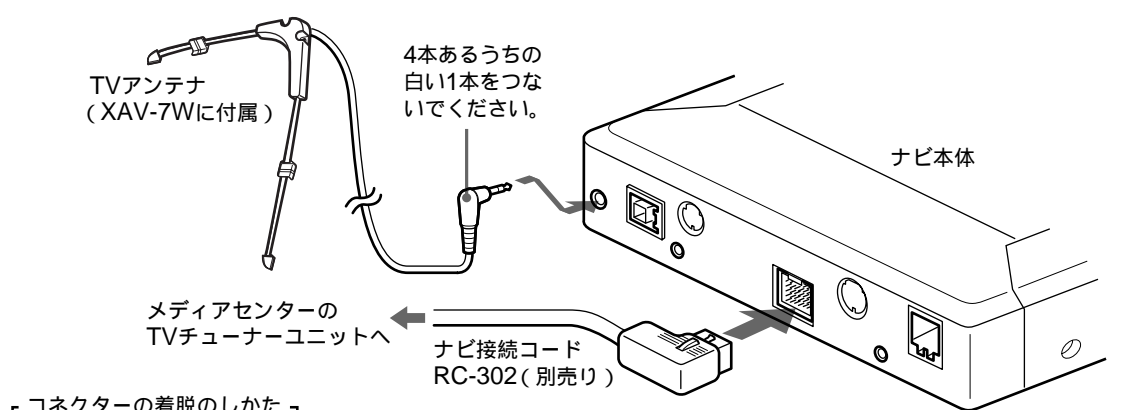
#### ちょっと一言

別売りの簡易車速パルス発生器XA-200Sをお使いになると、ナビゲーションシステムの自車位置の精度が向上します。XA-200Sでは、コンピュータ・の車速パルスと接続する必要がありますがありません。



②、⑥はカチッと音がするまで確実に差し込んでください。

### 3 メディアセンターXAV-7W(別売り)と接続する



#### ご注意

TVアンテナの端子は、4本あるうちの白い1本をナビ本体に接続しないと、VICs情報が表示されません。

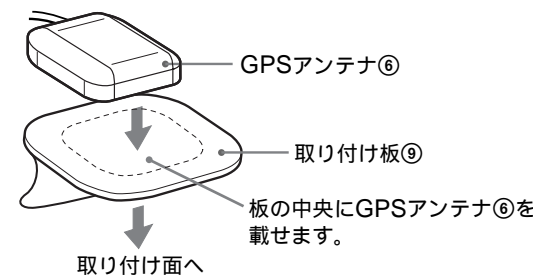
### 4 GPSアンテナを取り付ける

#### ご注意

- 一部のウィンドウガラスには、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付け受信状態が不安定なときは、1度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。
- ダッシュボードやリアトレイなど、なるべく水平な場所に取り付けてください。
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

リアトレイや車外に取り付ける場合は裏面の「GPSアンテナの取り付けについて」をご覧ください。

取り付け板⑨の中央にGPSアンテナ⑥を載せ、裏面のはくり紙をはがして取り付け面へ固定する



両面テープで貼り付ける前に、車内のインテリアやワイパーレードの陰に隠れないよう、正しく受信できることを確認してください。また、車両機器の動きの妨げにならないことを確認して、取り付けてください。

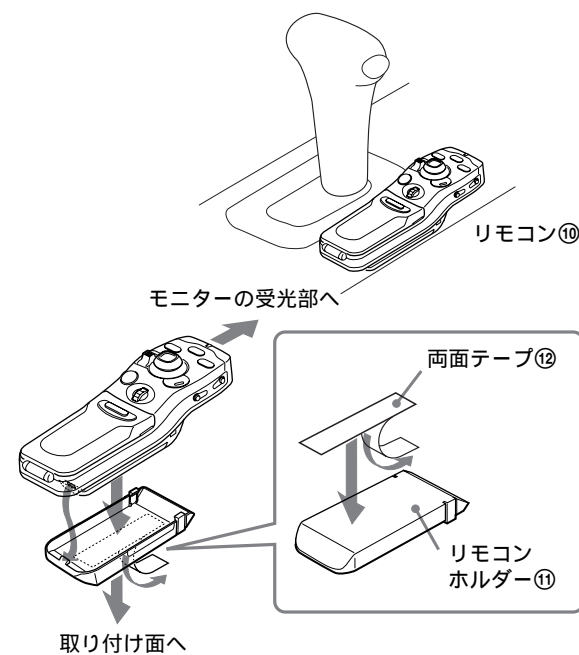
### 5 リモコンを取り付ける

#### ご注意

- 次のような場所への取り付けは避けてください。
  - シフトレバーやサイドブレーキなどの操作の妨げになる場所
  - 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになる場所
  - ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのある場所
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- リモコンは必ずリモコンホルダーに取り付けてください。
- リモコンがブレーキペダルの下などに落下して、運転の妨げになり、事故や怪我の原因となります。

両面テープ⑫で、リモコンと受光部のように取り付け

- シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。
- 両面テープを取り付ける前に、リモコン操作が正しくできることを確認してください。

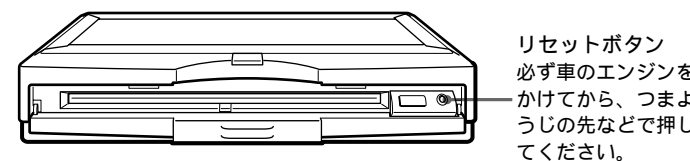


### 6 車のエンジンをかけて、ナビを起動させる

#### 1 車のエンジンをかける

2 ブレーキランプやライト、ホーン、ウinkerなど、すべての電装品が正しく動作することを確認する

3 モニターの電源を入れ、ナビ本体のリセットボタンをつまようじの先などで押す



リセットボタンを押すと、ナビのオープニング画面がモニターに映り、ナビが立ち上がります。

#### 4 地図ディスクを入れる



# 警告 安全のために

**警告表示の意味**

「取付接続説明書」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

**注意を促す記号**

火災 感電  
行為を禁止する記号  
禁止 分解禁止

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や大けがの原因となります。

**禁止** 本機はDC12Vマイナスアース専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく。イグニッションキーをONにしたまま作業すると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。

**禁止** 前方の視界を妨げる場所に取り付けられない。前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

**禁止** パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない。火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。

**禁止** 助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け。動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に動かず、けがの原因となります。

**禁止** ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない。車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

**禁止** 運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け。運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。  
・ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。  
・コード類はまとめる。  
・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

**分解や改造をしない**  
火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

**禁止** 雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けられない。上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

**規定容量のヒューズを使う**  
ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

**禁止** リモコンはリモコンホルダーに取り付ける。リモコンがブレーキペダルの下に落下するなど、運転の妨げになり、事故や怪我の原因となります。

**規定容量のヒューズを使う**  
ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

**注意** 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

**禁止** 安定した場所に取り付ける。振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となる場合があります。

**禁止** 本機の通風口や放熱板をふさがれない。フロアカーペットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。

付属の部品で正しく取り付け。他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

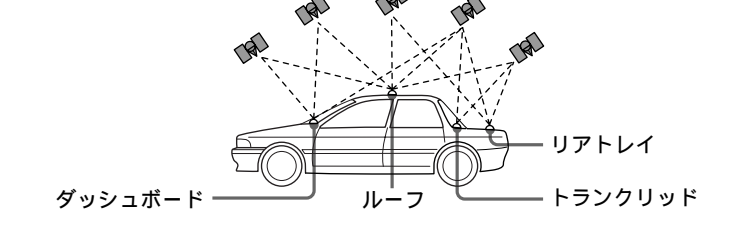
## GPSアンテナの取り付けについて

**ご注意**

- 取り付けるときは、ボディを傷つけないように静かに置いてください。
- コードを車外でたるませたまにしないでください。
- コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランプ⑥をご使用ください。
- 取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。
- 自動洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。アンテナが外れて車のボディを傷付けることがあります。
- GPSアンテナケーブルは、GPSの信号とGPSアンテナへのDC電源が通っています。配線にご注意は、車体可動部へのみ込みにご注意ください。ケーブルを破損すると、GPSアンテナおよびナビ本体の故障の原因となります。

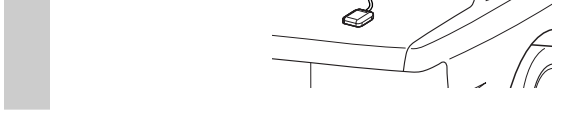
### 車外に取り付ける場合

GPSアンテナ⑥は、磁石で取り付けます。GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所(車外のルーフやトランクリッドなど)に、水平に取り付けてください。



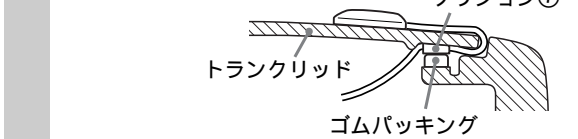
### 1 トランクリッドなどの上に取り付ける

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



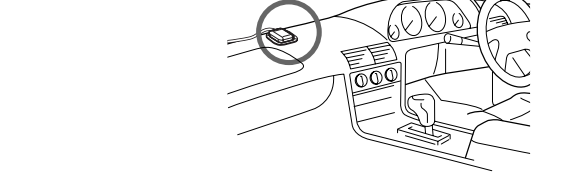
### 2 トランクリッドの裏側にクッション⑦を取り付ける

雨水がコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドを閉めたときに、ゴムパッキングの上にクッション⑦が当たるように取り付けてください。



### 車内に取り付ける場合

ダッシュボードやリアトレイに取り付けます。平らな位置に、GPSアンテナが水平になるように取り付けてください。取り付けかたについて詳しくは、裏面の「[4] GPSアンテナを取り付ける」をご覧ください。



**ちょっと一言**

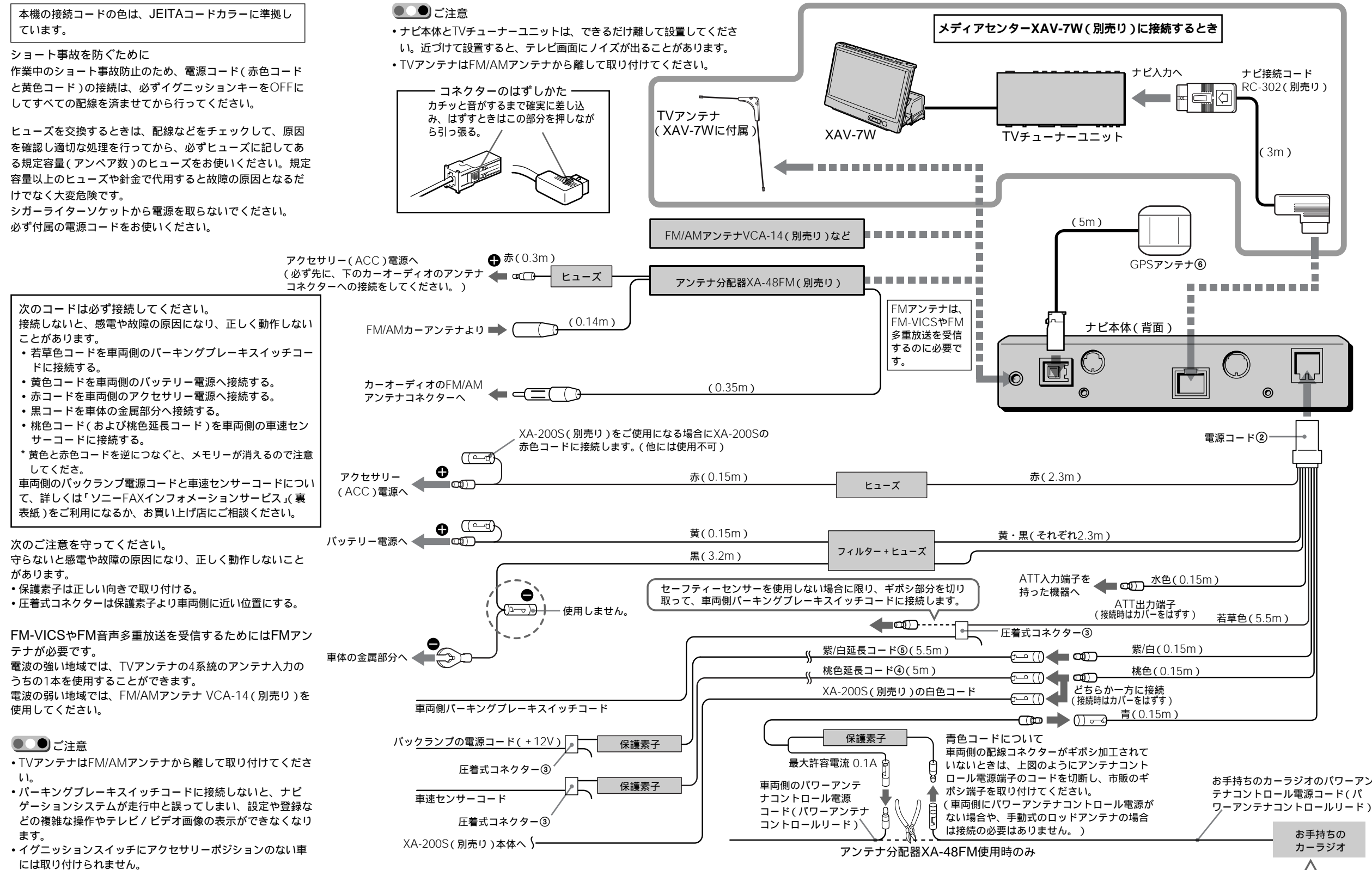
GPS衛星からの電波を通るものがない場所を選び、できるだけ広く電波が受けられるように取り付けてください。車内に通る場所がない場合は、車外に取り付けてください。

**ご注意**

一部のウィンドウガラス(フロント、リアとも)には、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、一度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

## 接続図

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。取り付ける車両のくわしい資料については、「ソニーFAXインフォメーションサービス」(表裏左下参照)をご利用することもできます。



## GPSアンテナを取り付ける

取り付け板⑨の中央にGPSアンテナ⑥を載せ、裏面のはくり紙をはがして取り付け面へ固定する



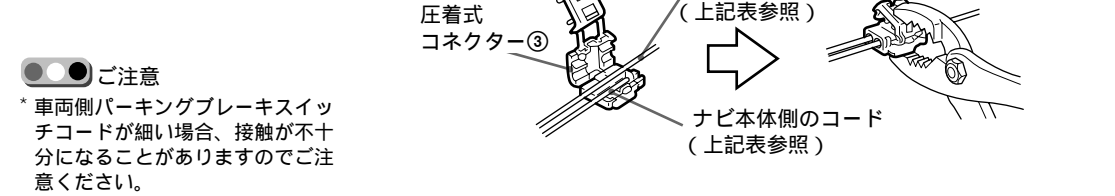
両面テープで貼り付ける前に、車内のインテリアやワイパーレードの陰に隠れないよう、正しく受信できることを確認してください。また、車両機器の動きの妨げにならないことを確認して、取り付けてください。

## 各コードの接続について

正確な測位、または安全のため、圧着式コネクタを使用して各コードを接続します。各コードの組み合わせについては、以下を参照してください。(本機の接続コードの色は、JEITAコードカラーに準拠しています。)

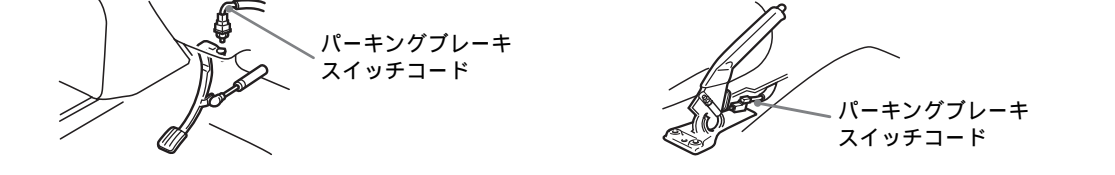
ナビ本体側	車両側
桃色(車速信号入力)コード	車速センサーコード
紫/白色(バック信号入力)コード	バックランプの電源コード
若草色(パーキングブレーキ)コード	パーキングブレーキスイッチコード

### 圧着式コネクタ③の使いかた



### パーキングブレーキスイッチコードの位置について

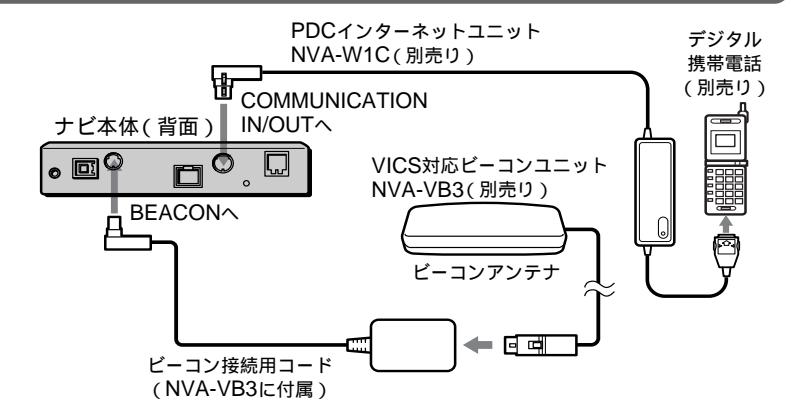
パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、詳しくはお買い上げ店にご相談ください。



## 別売り機器との接続について

**ご注意**

- CD/ROMチェンジャーCDX-R61やATISユニットXA-160A/165Aは接続できません。
- 一部のデジタル携帯電話は使用できない場合があります。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。
- PDCインターネットユニットの接続は、リモコン受光部⑧を接続した後に行ってください。



## 取り付けが終わったら

コードは運転の妨げにならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどにかからると、非常に危険です。

**ご注意**

ドアやシート下のレールにコードがかからないようにしてください。コードがはさまって断線してしまうおそれがあります。